

大支援研ニュース

特別支援教育

平成23年12月6日発行
大阪府支援教育研究会
会長 藤原 義彦
(堺市立浅香山中学校長)

ホームページで
お知らせが
ある場合があり
ます

<http://daishienken.visithp.com/>

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて件名に「大支援研問合せ」など「大支援研」を入れてください。

jimukyoku2009@daishienken.visithp.com

アドレスをテキストで載せるとスパムメールが多数届いてしまうので、画像で張り付けてあります。

大支援研 創立60周年記念研究大会について（予告）

平成24年8月8日（水） 大阪国際交流センターにて

◇役員総会

第3回 日時：平成24年1月19日（木）午後3時～5時 : アウリーナ大阪 3階 信貴の間

ICT活用プロジェクト夏期講座の報告 **報告記事添付**

2011年8月16日、17日に開催されたICT活用プロジェクト夏期講座は、支援機器製作講座、自作ソフト製作講座、支援教材活用講座、教材作り講座、ICTの活用に関する講演等がおこなわれました。各講座は、少人数体制で講師の先生と参加者が身近にじっくりと活動でき、講座に参加された方々から好評でした。今年も大阪支援教育コンピュータ研究会から多数の方々の協力をいただきました。各講座の運営がスムーズに行える事ができました。

詳細は添付の報告記事にあげておりますのでご覧下さい。

研修のお知らせ

研修部 主催 冬季研修会案内 **二次案内添付 申し込みはHPで**

平成24年2月4日（土）会場 たかつガーデン 午前10時～午後4時

午前の講座（10時30分～12時30分）A B C 午後の講座（午後2時～4時）D E F

(A) 発達支援と教材教具 ～経験の浅い先生方のための支援教育の教育実践～

櫃ノ上進氏 交野支援学校四條畷校

(B) 4月からはじまる新しい障害児福祉

小尾隆一氏 大阪手をつなぐ育成会理事・事務局長

(C) 支援を必要とする児童・生徒の性を考える

中村昭代氏、中野智恵氏 大阪手をつなぐ育成会 相談支援員

大橋一予氏 発達障がいの会 八尾

(D) 心理検査(WISC-Ⅲ) 理解と活用

瀧本一夫氏 守口支援学校

(E) TEACCH プログラムを知ろう, TEACCH プログラムのアイデアを活かそう

浅井郁子氏 堺市立上神谷支援学校

(F) 教室でできる特別支援教育

上嶋 恵氏 子どもの教育研究所所長

12月8日(木)より 本会HPから申し込みます。

<http://daishienken.visithp.com/>

研究部主催 講演会 平成24年2月25日(土) 午後

講師 NPO法人 ラヴィータ研究所 子ども発達相談センター・リソース「和」所長 米田和子
案内はお待ち下さい。

他団体からのお知らせ

第38回 大阪ムーブメント教育 研究会のご案内 **案内添付**

今回は、JAMET 会長である小林芳文先生を大阪にお招きして、直接ご指導いただける貴重な研究会となります。なお当日は、子ども教室も公開し、実際にいきいきと楽しんで取り組む子どもの様子を見ていただきたいと思います。

日時 : 平成23年12月24日(土) 13:30 ~ 16:30

会場 : 大阪教育大学 附属特別支援学校 (大阪市営地下鉄谷町線 喜連瓜破駅下車 徒歩5分)

参加費 : 2,000円 (当日 徴収いたします)

内容 : 保育・教育・家庭でのムーブメント教育の実践について

申し込み先及び方法: JAMET 大阪支部 FAX 072-367-0713

: E-MAIL kogorou123@nifty.com

添付の申込書にご記入の上FAX、もしくはメールでお申し込みください。

大阪ムーブメント教育研究会ホームページ <http://homepage2.nifty.com/osaka-movement/>

その他 ・動きやすい服装でご参加ください。

大阪特別支援教育推進連盟

平成23年度実践記録論文の募集 **案内は先月添付 今回も再添付**

福祉施設・学校等で障害児(者)と共に歩んでいる方々の日ごりの実践のまとめについてA4版で本文を5000字程度にまとめて下さい。(ワープロ可) 写真、グラフ、図等の挿入も可です。

具体的な実践論文の書き方については、添付の案内を参照してください

締め切りは 平成24年1月13日(金)です。

先月、案内を大支援研HPで落とせるようにできていませんでした。今回できるようにしました。

平成23年12月1日

各 学 校 長 様
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会
会 長 藤 原 義 彦

冬 季 研 修 会 の ご 案 内 (二次案内)

初冬の候、先生方もご活躍のことと存じます。

9月に一次案内を出しました大阪府支援教育研修会研修部主催による冬季研修会を以下の要項で実施いたします。ふるってご参加いただきますようお願いいたします。

記

- ① 日 時 平成24年 2月 4日 (土)
午前10時30分～午後4時 (10時 受付開始)
- ② 場 所 たかつガーデン
大阪市天王寺区東高津町7-11 Tel (06)6768-3911
(近鉄 大阪線・奈良線 大阪上本町駅 北東300m)
(地下鉄谷町線・千日前線 谷町九丁目駅 北東700m)
- ③ 内 容 午前3つ、午後3つの講座を開きます。内容は別紙をご参照ください。
午前・午後各1講座に参加していただくことを基本としますが、どちらか1つだけの講座の参加も可とします。
会場の定員を超え、お断りする場合には、ご連絡いたします。

午前の部 午前10時30分～12時30分 (10時 受付開始)

- (A) 発達支援と教材教具 ～経験の浅い先生方のための支援教育の教育実践～
檀ノ上進氏 交野支援学校四條畷校
- (B) 4月からはじまる新しい障害児福祉
小尾隆一氏 大阪手をつなぐ育成会理事・事務局長
- (C) 支援を必要とする児童・生徒の性を考える
中村昭代氏、中野智恵氏 大阪手をつなぐ育成会 相談支援員
大橋一予氏 発達障がいの会 八尾

午後の部 午後2時～4時 (1時30分 受付開始)

(D) 心理検査(WISC-Ⅲ) 理解と活用

瀧本一夫氏 守口支援学校

(E) TEACCHプログラムを知ろう, TEACCHプログラムのアイデアを活かそう

浅井郁子氏 堺市立上神谷支援学校

(F) 教室でできる特別支援教育

上嶋 恵氏 子どもの教育研究所所長

④ 申し込み期間 平成23年12月 8日(木)

～ 24年 1月27日(金)

ただし、各講座、会場の定員に達し次第、受付を締め切ります。

⑤ 申し込み方法

大支援研のHPから、申し込みお願いします。

「大支援研」で、検索してください。

<http://daishienken.visithp.com/annai/touki2011mousi.html>

氏名、所属校、参加希望講座、連絡先を必ず明記してください。

☆ HPから申し込みされたら自動送信で返信をお送りしますが、その時点では参加確定ではありません。まだ定員に達しておらず参加いただくことが可能でしたら、お返し「参加確定メール」をお送りします。その時点で参加の確定となります。

もし、すでに定員に達している場合等、ご希望に添えない場合には、「お断り」のメールをお送りさせていただきます。

連絡は、申し込みされたアドレスに送らせていただきます。携帯電話で申し込みされた場合、PCから送信する連絡メールを受信可能にしておいて下さい。

他の方法での連絡をご希望される場合、「通信欄」に下記のいずれかをご記入お願いします。 他のメールアドレス 電話番号 FAX番号
(勤務先・自宅のいずれかを明記して下さい)

☆ もし、申し込み後、1週間以上、連絡がない場合には、申し訳ありませんが、お問い合わせください。

☆ それぞれの講座内容についての具体的な質問や、講師の方に相談されたい事例がありましたら、「通信欄」にご記入ください。講師の方にお知らせします。なお、具体的な事例について書かれる場合には個人情報にご配慮ください。

⑥ 問い合わせ先

大阪府支援教育研究会 書記(研修部担当) 佐藤正幸

摂津市立第四中学校

TEL 06-6349-6181

FAX 06-6349-6184

大阪府支援教育研究会 2011年度冬季研修会 講座の内容

午前(A) 発達支援と教材教具 ～経験の浅い先生方のための支援教育の教育実践～

櫃ノ上 進氏 (交野支援学校四條畷校)

子どもたちはほめられることが大好きです。周りの期待にこたえようと、今持っている力で精一杯、与えられた課題に取り組んでいます。それが時には、子どもの実態を見誤ってしまうことがあります。授業を行った結果「何かしっくりこない」、「子どもが生き生きと活動していない」と感じたら、子どもの実態を考えなおす必要があります。「触ってわかる世界」、「見てわかる世界」、「言葉とイメージの世界」どの世界の住人であるか知ることが、適切な支援の第一歩となります。「言葉とイメージの世界」の住人である支援者が、他の世界の住人の子どもたちを理解し、支援するための道しるべとして教材・教具の活用例を中心にお話したいと思います。

午前(B) 4月からはじまる新しい障害児福祉

小尾 隆一氏 (大阪手をつなぐ育成会理事・事務局長)

児童生徒の生活や将来の自立について考える上で、福祉の制度について知ることの必要性は高いと思われませんが、知る機会が少ないのが現状です。変わりつつある福祉・支援制度について、講師の方に下記のようにお話しいただきます。

平成22年12月に障害者自立支援法と児童福祉法が改正され、24年4月から本格施行されます。一連の障害者制度改革の中では、今回の改正は「つなぎ法」と位置付けられ、さらなる制度改革も見通されます。特にこの10年間で激しく変わる障害者支援制度の姿を概観しつつ、間近に迫った新しい障害児福祉の制度を学校教育・支援教育と関連させながらお話しします。

午前(C) 支援を必要とする児童・生徒の性を考える

大橋 一予氏 (発達障がいの会 八尾)

中村 昭代氏、中野 智恵氏 (大阪手をつなぐ育成会)

性教育は性の健康教育であり、児童生徒の生活や自立とは切り離せないものです。講師の方からはこのテーマについて、さまざまな実践に基づくお話をお聞かせいただきます。

また、参加される方からの質問や相談に応じた内容でお話しいただけるとのことです。申込みにあたって、お聞きされたい事や日々の実践の中での課題や考えておられることなどを、「通信欄」にお書き下さい。

- | | |
|-----------------------|-------|
| — 基本的な生活習慣の確立から性指導を | 中村昭代氏 |
| — 発達障がい児の性教育を考える | 中野智恵氏 |
| — 成人した我が子を通して考えるしつけと性 | 大橋一予氏 |

午後（D） **心理検査(WISC - III) 理解と活用**

瀧本 一夫氏 (守口支援学校)

この研修は検査結果の解釈に重点を置く内容となります。ある事例を個人で解釈、そしてグループ内で発表・拝聴することによって、参加者のスキルアップを図ります。

[前半：講話] 解釈の手順、解釈におけるポイント

[後半：ワーク] 事例の紹介、個人で手順に従って解釈、グループに分かれて解釈の発表・拝聴、グループ代表によるグループ内の意見の紹介

[まとめ] 講師の方の解釈の紹介 ※解釈については、多くの事例を経験することが大切です。本研修では事例は一つですが、他の参加者に発表することによって自分の解釈の整理を、他者の解釈を聞くことによって自分では気づかなかったポイントを知ること、この二つを通して、一つの事例ながらも深く学べることが期待されます。

午後（E） **TEACCH プログラムを知ろう、TEACCH プログラムのアイデアを活かそう**

浅井 郁子氏 (堺市立上神谷支援学校)

TEACCH(Treatment and Education of Autistic and related Communication handicapped Children)プログラムは、米国ノースカロライナ州での自閉症の生涯にわたる支援制度です。日本に紹介されて30余年、その中で自閉症の人の特性を活かした「構造化による指導」が注目を集め、成果を生むと同時に誤解も生じてきました。講師の方は平成4年、関西で初めてTEACCHプログラムの研究会を開催して以来20年研究会の運営に当たり、多くの保護者や専門家とともにTEACCHプログラムの理念に基づく自閉症の人への支援に当たってこられました。「自閉症の文化」理解が当たり前になった今、再度、本当のTEACCHプログラムを知り、評価や構造化のアイデアについて正しく学びあいたいと思います。

午後（F） **教室でできる特別支援教育**

上嶋 恵氏 (子どもの教育研究所所長)

講師の方は公立小学校での勤務の後、発達障がい児のための教室を運営され、問題行動を持つ子どもたちの改善指導にあたっておられます。下記の内容でお話しいたきます。参加される方は、鉛筆1本、フェルト芯の赤ペン(○付け用などの細字タイプ)1本をご用意ください。

私の教室では、教科やソーシャル・スキル(社会性)ではなく、「見る」「聞く」力を伸ばす指導に重点を置いています。相談にくる子どもたちには、「聞くことは聞いているんだけど」「見ているとは思っているんだけど」の状態が多く見られます。その子どもたちに、一度見たら忘れない、大切なことは聞き漏らさない力をもたせることを目標にしています。

その力は、子どもの行動や学習の問題を変え、社会性を変えていきます。その力が、人生を変えるのです。・・・これらは、私がこれまで実践し、効果を確認してきた「見る」「聞く」を中心とした集中トレーニングです。それぞれは1分もあればできるものばかりです。この集中トレーニングを1日のはじまり、学習のはじまりなどに、子どもたちのようすを見ながらこれらを組み合わせる行ってください。・・・

ICT 活用プロジェクト夏期講座の報告

ICT プロジェクト夏期講座事務局 平峰 厚正

遅くなりましたが、2011年8月16日、17日に開催されたICT活用プロジェクト夏期講座について報告させていただきます。夏期講座の内容は、今年度も支援機器製作講座、自作ソフト製作講座、支援教材活用講座、教材作り講座、ICTの活用に関する講演等でした。各講座は、少人数体制で講師の先生と参加者が身近にじっくりと活動でき、講座に参加された方々から好評でした。今年も大阪支援教育コンピュータ研究会から多数の方々の協力をいただきました。各講座の運営がスムーズに行える事ができました。また、困ったときの適切なアドバイスで安心して講座に参加できた等、講座参加者から感謝の声が多数ありました。ありがとうございました。

夏期講座の会場は、例年、大阪府立の支援学校で行われていましたが、今年度は、大阪府教育センターを会場に実施しました。二日間の参加延べ人数は、233名でした。アンケートより参加者の多くから、大阪府教育センターでの実施は、研修会として参加しやすくなったという意見が多くありました。また、夏期講座の講師の先生方からも大阪府教育センターを会場とした事は好評で、来年度のICT活用プロジェクト夏期講座にも再度協力していただけるとの約束を多数の先生方から頂いています。来年度もお盆時期の8月16日前後に大阪府教育センターを会場とし、今年度と同じような講座構成でICT活用プロジェクト夏期講座を実施できればと考えています。来年度のICT活用プロジェクト夏期講座の開催に向け、また、少しずつ準備していこうと思っておりますので、よろしく願います。

各講座の様子

A 講座

「特別支援教育における情報機器の活用と課題」

～一人一人に応じた指導と協同学習の推進～

講演 丹羽 登 先生



1. 良かったこと・感想

- ・ 情報機器の活用でデジタル教科書という言葉で活用されている事など初めて知った。全体的な動向？が知れて良かったです。
- ・ 国の考えなどいつもと違った目線から聞いておもしろかったです。内容が私には難しかったです。
「ワープロなら伝えられる」の話はすごく印象的でした！！
- ・ 最新の文部科学省の動きが分かり大変参考になりました。
- ・ ICTを活用することによって、子ども同士の学び合いができ、一度にたくさんの情報を得ることができますが、支援学級に在籍している子どもたちは（特に知的障害の子）、どのように授業に参加すればいいのかいつも悩みます。できるだけみんなと同じことをさせたいという気持ちがあるので…。ICTはとても便利ですが、全てをデジタル化するのではなくデジタルとアナログの使い分けが大切だと思います。
- ・ 現在、今後の動向が良く分かりました。
- ・ 国の考えた方の動向が確認できたことが良かったです。また、障害者の権利に関する条約や障害者基本法の改正についても最新の情報が分かりありがたかったです。
- ・ 新しい情報、活用方法を話の中に織り交ぜてくださり分かりやすかったです。デジタル教科書を見たことがないので、見てみたかった。
- ・ 今後、教育が情報機器をツールとして指導にさらに進んでいくことが分かった。
- ・ 久しぶりのICT活用プロジェクトに参加しました。技術はどんどん進化しているので、毎年、新しいことを聞けて良いです。講師の先生、係の先生方お疲れ様でした。ありがとうございました。

教育の情報化ビジョンや児童生徒の情報活用能力の育成について、国の動向が分かり、また、特別支援教育における情報通信技術の活用の大切さについても認識を深めることができ良かったです。ありがとうございました。

B 講座

「あなたも作れる Flash 講座」 Flash ソフト製作講座

講師 神佐 博 先生

1. 良かったこと・感想

- ・ とても丁寧に指導していただき、レジュメにも細かい手順を書いてくださっていたので、Flash に初めて触りましたがなんとかついていけました。最後までいかなかったのが、少し不安でした。テンプレートを頂いたので、なんとかできましたが、一度全部自分で作ってみると、より仕組みが分かったのかも、とも思います。テンプレートを頂いたのが、とてもありがたいです。ゼロから作るは大変そうなので、まずはアレンジして作ってみたいです。他の先生方の作品も、とても参考になりました。Flash 作ってみたいなどはずっと思っていたのですが、なかなか手が出ずにいました。このような機会を与えて頂き、ありがとうございました。これからもっといじって、いろいろ作ってみたいと思います。
- ・ とにかくやらないと出来ないと思い試行錯誤をしながら作り、徐々に分かったのが良かった。参加者が作ったオリジナルソフトが見られて良かった。参考になった。全く Flash の仕組みが分からないまま参加したのですが、ソフトを作るのは楽しいですが、ソフトを作るのは難しいですね。何回も作ることで少しずつモノにしていけたら…と思いました。いろいろありがとうございました。
- ・ いつも丁寧に教えて頂きありがたく思っています。最近、この講座の参加者が少なくなってきているのが残念です。教材に使える Flash を教えて頂けるのは、この講座しかないのに、もう少し参加者がいれればいいと思います。貴重な二日間なので事前に教材等を頂いたら予習した上で参加できると思うのですが。
- ・ テキストを見ながら実際に PC を触りながらでき、よかったです。（わかりやすさにつながりました。）教材を 2 つ完成させることが出来たのが良かったです。また、参加された方のアイデアや教材を見ることができ、良かったです。また、Flash 講座を来年も開設してほしいです。

昨日、初めて Flash をさわりました。一人はムリです！少人数で先生と近いキョリで学べて良かったです。毎日、少しでも Flash を触る時間を作りたいです。来年度も是非、神佐先生の Flash 講座をお願いします。



講座 C,D

「Flash でスキャン教材ソフトをつくろう」

Flash ソフト製作講座

講師 竹島 久志 先生、吉村 史郎 先生、

吉田 悠亮 先生、高橋 健一 先生

1. 良かったこと・感想

- ・ 分かりやすく親切に教えて頂いたこと。
- ・ 少しのプログラムで作成できることに感動した。
- ・ 親切に教えてもらってよく分かった。
- ・ まだ、フラッシュに関しては初級者なので午前の講座でその仕組みが良く理解できました。
- ・ 作りたと思っていた教材について最後まで完成することはできなかったが途中まででも作れたのはうれしいし、他のソフトを参考しながらこの先を目指して見たいと思いました。
- ・ 分かりやすい説明で良かった。スイッチ入力機能ライブラリも使いやすそうでよかったです。
- ・ オートスキャンで作るソフトの作り方についてわかった。簡単な選択教材を作れそうです。
- ・ 選択教材を作れそうなので朝の会のコミュニケーションとかに使っていったらと思う。
- ・ Flash を使うとこんなことができるということが少しは理解できました。
- ・ 具体的な目的（完成形）をしっかり押さえて上で 1 から順に分かりやすく教えていただけで良かったです。
- ・ 活用例をたくさん教えていただき勉強になりました。自分でどんどんさわることが大切だと思いました。
- ・ トラブルに丁寧に対応して頂きました。私には難しすぎました。
- ・ 丁寧に教えて頂き、ありがとうございました。とても難しい内容でしたが、少しでも”仕組み”を知ることができて良かったです。



講座 G

「スイッチラッチアンドタイマー製作」 製作講座

講師 禿 嘉人 先生、外山 世志之 先生、谷本 式慶 先生



1. 良かったこと・感想

- ・ スwitchラッチアンドタイマーは出来上がった物を使っての講座も良いと思いましたが、一から製作することで色々な物を作ってみようかなという気持ちになりました。“はんだ”の作業は自分が中学時代（30年以上前）に習ったきり使ったことはなかったのですが、修理は出来そうです。次回も参加させて頂きたいなと思いました。全く初めての参加でしかも兵庫からの参加で不安な思いもありましたが、4人で楽しく作業が出来たととても良かったです。講師の先生方、ありがとうございました。部品を固定するものがなく、コロコロと動いて苦労しました。ハンダづけが楽しくて夢中で取り組んでしまいました。ハンダの先が抜けるハプニングもありましたが、おかげで、どのようにしてメンテナンスをするのかも分かりよかったです。ラッチ機能のウラ機能を一部教えてもらってよかったです。もっと、ウラの使い方が知りたかったです。ウラ機能を実践を加えながら教えて頂けると現場に戻ってから生かしやすいと思いました。みなさんで出来上がってから残り 30 分間くらいで実物を手にしながら使い方講座があればより理解が深まると思います。
- ・ 一から道具を作る機会も力量もないので、出来る人に支援して頂きながら、貴重な体験をさせて頂きました。ありがとうございました。障害者向けの入力装置についても興味があり、今回の研究会を楽しく参加させて頂きました。都合がつけば次の機会も参加したいです。
- ・ 無事に完成して良かったです。製作について右も左も分からぬ状態で参加させて頂いたのですが、丁寧に教えて頂いたので完成することが出来ました。ありがとうございました。こういった機械は何か“きっかけ”がないとなかなか自ら作ろうとならないものだと思います。ハンダなどの準備段階であきらめてしまうところですが、事前準備して頂いて最後まで作りきりました。今日作った物を使って、何か授業を作りたいなと思います。
- ・ ゆっくり作っても十分間に合いました。私のペースにぴったりでした。スタッフの方が親切なので間違えることもありませんでした。販売して頂いた本にあるようないろいろな装置を実演して頂けるとより授業のヒントになると思いました。
- ・ 機械物の（ハンダづけなど）への抵抗感が少し減りました。実際やると「できるもんだ！」と思いました。作り方の基本を教えて頂いたので、ここからは如何に子どもに合ったスイッチへと広げていけるかだと思います。初心者にもかかわらず丁寧に丁寧に教えて頂いたおかげで無事に作り上げることが出来ました。ご迷惑をおかけしましたが、ありがとうございました。
- ・ 丁寧に教えてもらってありがたかったです。ラッチアンドタイマー以外にも BD アダプターやスイッチなども製作できたこと、また、完成品を販売してもらえたことが特によかったです。
- ・ 工作ができてとても良かったです。簡単なスイッチやおもちゃの改造（講座）があっても良いと思います。これからも続けてください。ありがとうございました。とても勉強になりました。
- ・ 製作を通して今後、作ることへの意欲が高まりました。製作・教具作り、頑張ろうと思います。スイッチと実際に動かす物の両方が製作できればと思います。（改造の仕方も含め）キット製作からでもいいので、いろいろなスイッチやおもちゃ等の改造等をやってみようと思います。
- ・ 大変親切な説明書（製作）に感動しました。意外な使用方法がよく分かりました。来て良かったです。
- ・ すぐに役立つ教材が作れてよかったです。工具は持参できる人は持参しても良いと思います。製作メインの講座なので、とても集中して取り組みました。時間があっという間に過ぎました。良かったです。
- ・ 教具として有用なラッチアンドタイマーが入手できた！ということも素直な感想としてありますが、それ以上に、普段（というよりも本講座に参加しない限りは）しないような工作作業を体験でき、これを機に自分でも製作をやってみようかなという想いが持てるようになりました。ありがとうございました。本年度のような製作講座を来年も続けて頂けると嬉しいです。（担当される先生の準備は大変かと思いますがよろしく願います。）
- ・ 説明書がとても分かりやすかったことに加えて、アドバイザーの方もたくさんいてくださったので安心してスムーズに作ることが出来ました。ラッチアンドタイマーの簡単な仕組みを知れたらと思いました。ラッチアンドタイマー以外にも色々なおもちゃを作れて良かったです。実例として、このような機器をどのように活用してもらえるのか知りたいです。
- ・ 機能の高いものを比較的簡単に作れたことが驚きです。学校に良いおみやげを持って帰れます。スイッチ、おも

ちゃんどを使った授業例やアイデアなどの講座があれば受けてみたいです。

- ・ ハンダごてなど使用したことがなかったのですが、丁寧に教えて頂き、良かったです。
 - ・ 以前から作りたかったラッチアンドタイマーが何とか出来ました。授業で活用したいと思います。やっているうちにハンダがやりやすくなりましたが、忘れないように製作やっていきたいと思います。
- ・ アドバイスを細かく頂けたのでなんとか作り上げることが出来ました。ありがとうございました。実際に自分でパソコンについて遊ぶまで一緒にやってもらいたいです。学校で使おうとしても、うまくできるのか不安なので…。

講座 H1

「大前ソフト」の解説と USB インターフェースの活用について」

自作教材紹介講座

講師 大前 洋介 先生、田中 敏弥 先生

1. 良かったこと・感想

- ・ 子どもが楽しめそうなゲームがたくさん紹介していただきました。（なかなか作れるソフトが見つからなくて困っていました。）読み上げソフトを使ってみたいと思いました。
- ・ スイッチに関して色々使い方があるということが分かり知識を積んでいきたいと思いました。ありがとうございました。具体的な例を色々知りたいです。
- ・ 大前ソフトを以前の研修会で頂き、先生からソフトの説明を聞くことが出来て良かったです。USB インターフェイスについては難しかったです。
- ・ 子どもたちそれぞれの身体の動きやニーズに、こちらのアイデアが実現できるのだと分かり、とても良かった。ただ、作っていくのは相当の努力が必要と思う。ありがとうございました。
- ・ 大前ソフトは授業ですぐ役立ちそうです。重度の子どもが因果関係を理解し、生活を楽しめたらと思います。和太鼓の読み上げソフトもすぐに活用できそうです。
- ・ 大前ソフトを初めて見ましたので、ワンクリックで出来るソフトの紹介と CD を頂けたのが良かった。
- ・ スキャンの練習のためのソフトという考え方が良かったです。
- ・ 自分でその場で使わせてくれたので、分かりやすかった。
- ・ 肢体障害のある子どもにとって AAC の活用は不可欠ですが、スイッチの工夫といったアイデアはあっても、教材としての活用や広がりといった面では行き詰まっていたところがありました。それが本講座でパソコンを利用した教材とそれを動かすインターフェイスを紹介いただいたことで教材のアイデアが広がりました。
- ・ 自由にソフトを体験させてもらったことが良かった。



講座 H2

「USB 入力インターフェイス（スイッチ入力機器）」 製作講座

講師 田中 敏弥 先生、大前 洋介 先生

1. 良かったこと・感想

- ・ なんとか時間内に出来て良かったです。これがあれば、入力方法も広がると思います。以前からは是非作ってみたかったので良かったです。ハンダはとても勉強になりましたが、ハンダが下手な人も組み立てられるようなものがあれば、初めての人もやりやすいかと思います。（製作しようと思うきっかけになりやすいかも）
- ・ とにかく完成して動作して良かった。製作自体は楽しかったが説明されるままに作り原理は分かっていない。製作は人に任せて私は授業の使い方、実践をしていく方が適正。製作の基本が分かっていないので、壊れても直せない。各種スイッチで完成度の高いのを購入したり（自分で作るのではなく）、希望を言って人に作ってもらえたりしたら、（それを）応用する方が実用的。入力インターフェイスとして使いこなせるか自信がないので、これまで通り、インターフェイスを（職場の）情報教室から借りてくるかも。
- ・ 大変丁寧に教えて頂き完成しました。授業に大変活用できそうな USB インターフェイスを作成出来たこととキットを紹介して頂き良かったです。
- ・ ハンダづけが難しかったです。細かい作業にはメガネ（準備物に入れてみては）がいらいます。とても楽しかったです。会場も近くて（市内で）良かった。

- ・ 大変丁寧に教えて頂いて分かりやすかったです。
- ・ 午前で紹介して頂いたインターフェイスは「すごい!」「ほしい!」と思わせるほど魅力的で、それを実際に製作し持ち帰ることができ、とても感激しています。

講座 I

「特別支援教育における ICT と AT の活用」

講演 金森 克浩 先生



1. 良かったこと・感想

- ・ 事例を聞くことで活用されている実感がわいた。また、活用するための方法やサイトを教えてもらったので進んで活用できそうです。
- ・ 授業実践も聞いて良かったです。デジタル教科書のことを知れたので良かったです。
- ・ 事例の紹介、参考になりました。様々なサイトの紹介もしていただき、うれしかったです。
- ・ コンテンツの紹介が良かった。今後もこうした研修会の中では最新で有用なコンテンツの紹介を一部でもいいので時間をとってやっていただきたい。
- ・ 障害のある子どもたちにとって、視覚的な情報はとても大切だと改めて感じました。ICT を活用してコミュニケーションをとったり、学習できるようになると学校生活がもっと楽しくスムーズに過ごせるだろうなと思いました。
- ・ 初めて参加させてもらいましたが、金森先生とは何度もお会いしているのです、緊張せずにリラックスして参加できました。以前の講義でお聞きした内容に新しいものが加わっていて、さらに分かりやすくなっていました。まだ、ICT も AT も聞き慣れてはいませんが、2度目ということもあり少しですが分かってきました。また、来させてもらおうと思っています。
- ・ 全国的に多くの ICT 活用事例があるのを見せて頂きありがとうございました。アシスティブテクノロジーの使用側の教師のモチベーションのあたりの話を聞かせて頂きたかったですね。
- ・ とても分かりやすい説明でおもしろかったです。AT についてもっと勉強したくなりました。(学生)

講座 J

中重度の知的障害児にも ICT! iPad でできるこんな授業」

教材活用講座

講師 佐原 恒一郎 先生



1. 良かったこと・感想

- ・ 子どもの表情があり、反応や効果が手に取るように分かりよかった。又、具体的なアプリの紹介も良かったです。学校に帰って、また、いろいろいじって9月にのぞもうと思います。ありがとうございました。
- ・ iPad の使用例、アプリの紹介が良かった。うちの生徒は PC が好きなので iPad も気に入ると思いました。講座に参加して「やりたい」→「待つ」の習慣をうちの生徒にもつけたいと思いました。
- ・ iPad の事例、ソフトの紹介は大変良かった。
- ・ アプリ、紹介サイトを教えていただいた事が良かったです。実践については子どもの実態がそれぞれなので難しいかもしれませんが、色々見てみたいです。普通学校で原学級に入り込んでいる場合の実践が知りたい。
- ・ iPad を持っているのが参考になり、今後に生かしたい。
- ・ 発達段階の「中重度」ということで大変参考になりました。
- ・ 具体的な事例を見せていただけたのが良かったです。引き続き発展例を見たいです。
- ・ 具体例が多くて良かったです。もっと iPad の活用について知りたいです。
- ・ iPad を用いた実践事例を紹介してもらい活用の場面に適したアプリが分かりました。
- ・ IT 嫌いの先生方に煙たがられて iPad の使用をためらうことがありましたが、もう少し努力して子どもに使わせてみようという勇気? が出てきました。

- ・ 実際に子どもが使っている VTR を見れて良かったです。ありがとうございました。
 - ・ たくさんのソフトを知ることが出来て良かったです。受け持っている生徒に使えるようなソフトを探してみたいと思います。
 - ・ 実際の実践ビデオも見せてもらえて実感できました。iPad を実際に使用する様子が良く分かった。ありがとうございました。
 - ・ 良かったです。今後も iPad の教材を使った実践報告があればよい。
 - ・ 実例のビデオがありよかったです。
 - ・ iPad でのプレゼンは色々なソフトが素早く起動できるので可能性が大きく魅力的です。
 - ・ ICT やタブレットには興味があったので参加して良かったです。自分も iPad を利用しているので、何か子どもに使えるらと思います。
 - ・ 実際に児童が使っている映像が見られて良かった。
 - ・ iPad への向かい方、興味の持ち方…良いと思います。ただ、iPad を通して教師とのコミュニケーションの表現手段を本人につけて欲しい。(たまたま DVD では出ていなかっただけだったらすみません。)身振り、発声など「きらい」「すき」「もっと」「おしまい」等表現できたら(分かり合えたら)もっとステキですね。色々教えて頂いたので、早速、授業で使ってみたいです。
 - ・ いろいろなアプリが見れて良かった。全体指導での活用も見てみたかった。
- 同じような考えの先生がおられたことが良かった。

講座K

「DAISY図書の紹介と事例報告」 DAISY紹介講座

講師 田中直壽 先生

1. 良かったこと・感想

- ・ DAISYを使ってみてどんな効果が得られるのかと言う事が分かりました。ありがとうございました。
- ・ デイジーの現況について分かりました。ありがとうございました。
- ・ デイジーに関する枠組みが分かり学びやすく思いました。事例の動画(大人代役でもいいです)で使用例があるとより分かりやすいと思います。
- ・ デイジーの名前も内容も分からない者が参加してしまいました。とてもいい内容で使えるような児童の顔を浮かべながら聞かせて頂きました。が、分からない言葉があり、自分には難しい講座でした。実践例が聞けて良かったです。DAISYなので“読むこと”“見ること”に難しさを感じている子どもたちがよりよく生活できるようになればと思います。支援学校で中度、重度の知的障がいのある子どもたちにも活かせる活用例があればと思いました。
- ・ 細かい事は知らなかったのでいろいろな情報を得る事が出来て良かった。
- ・ 初めてDAISY図書を見て、いつも国語の音読で困難を抱えている子どもに是非使いたいと思いました。
- ・ 勤務校に(認定されていないけれど)ロービジョンの児童が在籍する事がきっかけで、関心を持ち参加させて頂きました。中学校の事例で学習内容が増えて、マルチメディアDAISYを利用して主要教科の教科書のデータを利用して学習している事が興味深かった。現在4年生ですが、5、6年生や中学生に向けて、この事例を参考にして学習支援ができればと感じました。ありがとうございました。
- ・ DAISY図書という名前は知っていたのですが、どのような目的で使われているのか具体的に知る事が出来て良かったです。制作者がほとんどボランティアで経費も少ないという実態を知り、もっと多くの人に存在を知らせていくべきだと思いました。
- ・ マルチメディアデイジー教科書の実践事例は参考になりました。今後、実践数を増やし、分母を大きくした上での効果の検証、さらに普及と広がるよう一役買えればと思います。



講座 L

「DAISY」の概要と実習」 DAISY 制作講座

講師 濱田 麻邑 先生、大島 友子 先生

1. 良かったこと・感想

- ・ ありがとうございます。ていねいに教えて頂いたので、言われたとおりにすれば、何とか出来ました。また、家に帰ってインストールします。
- ・ ステップごとに、ゆっくりと解説、操作をしてくださったので良く分かりました。自分のパソコンにもセットアップ出来たので、2学期からの読み練習や教材作りが楽しみです。受講させて頂き、とても有意義でした。ありがとうございます。
- ・ 一緒に組んだ方がパソコンの上手な方で講師の方も的確に教えて下さり、とても良く分かりました。午前（講座 K）と同じくパソコンの言葉が難しかったのですが、家でじっくりやってみたくと思っています。
- ・ Tobi の存在を知って良かったです。途中休憩がなくてしんどかった。
- ・ 初めての人でも分かりやすく、すぐ作成にとりかかれるように教えて下さって良かった。今年度（今までも）作成し始めた方が次のステップに移れるようなものがあると良いかもしれません。パソコンまですべて用意して下さい本当にありがとうございました。
- ・ 貴重な経験をさせていただき、DAISY の操作の仕方や活用方法についても知ることが出来た。ただ、私にとっては初めて聞く言葉や操作ばかりだったのですが、十分についていけるスピードで、もう少し速くてもいいくらいでした。たくさんのサポーターの先生がおられて親切に教えて頂けてありがたかったし心強かったです。
- ・ 今後の教育活動に何らかのかたちで必要に応じて活用できると望ましく思います。ありがとうございます。有意義な時間だったと感じます。ICT に関心があるので、都合がつけば次回も参加して学びたいと感じました。
- ・ ゆっくりと説明していただいたのでわかりやすかったです。
- ・ DAISY の実習は初めてでしたが、わかりやすく説明して頂き良かったです。
- ・ 以前、別の方法によるマルチメディアデジタイズ図書製作を学びました。今日はより簡単に教材作りができるようになりました。



講座 M

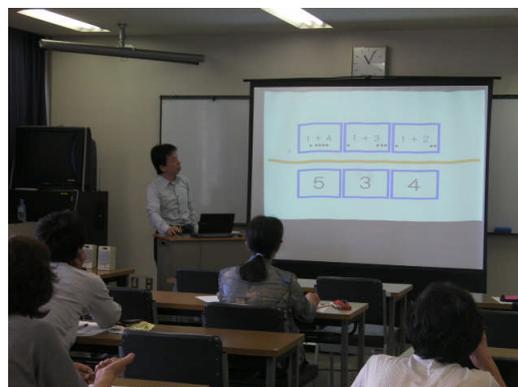
「ICT を活用した算数障がいへのアプローチ」

教材紹介・活用講座

講師 近藤 春洋 先生

1. 良かったこと・感想

- ・ 時間内すべての内容に感動をともないながら大変良い勉強をさせて頂きました。どうもありがとうございました。来年もご指導頂ければと思います。よろしくお願い致します。
- ・ 算数障がいに対して、どのようなトレーニングができるか、練習問題をとおして分かった。空間認知トレーニングなどゲームのようにできるから、授業でもぜひ取り組んでみたいと思う。
- ・ 空間認知の弱い児童が本校にもいて、今回の研修を受け、是非、活用したいと思いました。興味深く聞かせて頂きました。ありがとうございました。
- ・ いろいろなプログラム紹介ありがとうございました。私も休み時間を使って空間認知の弱い子どもにソフトを使って遊び感覚で使っています。積み木（WISCⅢ）のような図形をまねて写し取るとき、1ますの枠を作ってその部分だけ見るようにしています。新しいものが今日多くあり、使うのが楽しみです
- ・ 算数支援のしかたで、ICT を活用したいろんなサポートの仕方を詳しく教えて頂き、2学期からすぐに活用できるので大変良かったです。支援ソフトも分けて頂けるということなので大変助かります。ありがとうございました。
- ・ 算数を専門的に見た問題点、それを補うトレーニング、支援の仕方を教えて頂いて良かったです。特に能の働きからの話は興味深かったです。5の分解がなぜ分かりにくいのか、計算は出来るのに立式しにくいのはなぜか等



納得でき、すっきりしました。2学期からアセスメントをして教材を選んで取り組んでみたいと思っています。もっと時間が欲しかったです。

- ・ 算数障がいについて具体的な子どもの状況も含めてお話頂いたので理解がしやすかったです。また、脳科学的なお話もあり、科学的根拠に基づくトレーニングの必要なことが学べました。
- ・ 具体的に子どもにどのようにアプローチしてよいのか、分かりやすく教えて頂きました。ありがとうございました。アセスメントの中で子どもをとらえる視点を的確に教えて頂きました。（なるほど…と思いました）。指導内容の多さからドリル型の指導を中心に行うことが多いですが、数を量としてとらえることの大切さを改めて感じました。ソフトの内容の広さと深さに感動しました。
- ・ 近藤先生の講座は今日まで何度も受けているのですが、算数障がいにポイントをしばったものは初めてだったので、とても新鮮な学びがありました。特に算数アセスメントの手段を示していただけたのが良かったです。支援の方法として具体物を使ったりしながら、繰り返すときにはソフトを使った方が取り組みやすいというのがよく分かりました。
- ・ 空間認知力が算数・数学の計算や概念の根本的な基礎的力となることについてあらたに興味を持てた。言葉として算数障がいは強い違和感を感じた。視覚障がいや聴覚障がい（児、者）の空間認知が視覚、聴覚の欠損により難しいが、この点についての ICT 活用についてサポートが聞けなかったのは残念！

講座 N

「あなたも作れるパワーポイント教材」講座 N 教材紹介・自作教材製作講座

講師 久津名 祐子 先生、大島 友子 先生、根本 貴明 先生



1. 良かったこと・感想

- ・ たくさんの教材を知ることが出来たこと、マイクロソフトの新しい商品を知ることができたこと etc とても良かったです。全体を通して発表会がありとても良かったです。
- ・ Power Point の使い方が簡単なものしか分からなかったのですが、いろいろな方法があり、たくさんの用途があり、授業で使えるのが分かりました。実際に使ってみて、難しいと思ったが、使っていると分からない所も自分で分かり良かった。
- ・ 実際にパワーポイントの例を見れて良かったです。楽しかったです。パワーポイントをあまりした事がなかったので、初めすぐに“特別支援教育での Power Point 活用”（話はすごく良かったです！！）を聞いて少し難しすぎました。基本がわからなかったので…。
- ・ ものすごく良かったです。パワーポイントの使い方について、いろいろな使い方について研修したかったので、有意義でした。久津名先生、根本先生の教材の実物を見せていただき様々な操作方法を具体的に教えて頂き、さらに午後実際にパソコンで作ってみて覚えることができました。1日たっぷり研修できて9月からの実践に役立てそうです。行事等で使えるように8月中旬に家でもいろいろ試してみます。
- ・ PC が苦手で、前半の話もやっとでしたが、パワーポイントでこんなことが作成できるということ、触られ、又、少しばかりでも自分で作成することができ、嬉しかったです。少しでも子どもたちに返させることができればと思います。
- ・ こういう一度にマウスが使えること自体知らなかったので実例なども見せて頂いて良かったです。また、実際に現場で使える便利な機能がありましたら紹介してください。自分で作ると説明本を読むより自分の身につくので、この形式は良いと思います。作品やその他、雛形を持って帰らせて頂けるのはありがたいです。また、来年も楽しい内容を待っています。全体を通して、可能であれば、もう一人二人ぐらい作業の途中で教えて頂ける方がいるといいなと思いました。
- ・ 先生方が教材研究に努力されていて、すごく勉強になりました。生徒の実態に合わせた教材を作ることが大切だということが分かりました。私も生徒の困り感に寄り添って解決できるよう心がけて行きたいです。
- ・ パワーポイントの効果的な使い方について教えて頂けて良かったです。実際に真似してみるくらいしか出来なかったのですが、教えて頂きながら、やって見るのが出来たのであつという間に時間が過ぎてしまいました。もう少し家でもパワーポイントで担任している子どもたちの事を思い浮かべながら教材作りをしてみます。1日、ありがとうございました。
- ・ パワーポイントを使って楽しい教材が作れました。とても役立つと思いました。久津名先生、根本先生、大島先

生、どうもありがとうございました。

- ・ ハイパーリンクの使い方が良く分かりました。プレゼンにしか使ったことがなかったので、教材作り頑張ります。講座の時間配分…難しいですね。丁寧に教えて頂きありがとうございました。先生方の熱意も感心しました。
- ・ パワーポイントで魅力的な教材が作れることが分かった。講座に参加してとても良かった。個々の子どもに合わせて作りたいアイデアがあります。でも、1時間でわずかしかできない。一人で出来るか自信がありません。教えてもらってやっと出来ました。ありがとうございました。
- ・ マイクロソフトの方から教えて頂いたものをダウンロードしたいと思います。他の先生方の作られた教材を見る事が出来て良かった。初めてのパワーポイントでしたが、基本的な項目から丁寧に教えて頂き良く分かりました。皆さんの工夫された教材を見せてもらって、とても参考になったし楽しかったです。
- ・ アニメーション機能やその他の機能の使い方が分かったことや他の学校でもいろいろな取り組みがなされていることが分かり、励みになりました。
- ・ パワーポイントについて教材も紹介しながら丁寧に教えて頂けてありがたかったです。自分が指導している（生徒）グループを考えながら教材作りが出来て良かったです。全体を通して、パワーポイントでこんなにいろいろな事ができるんだと分かり楽しかったです。開設してほしい講座として、現場で使える優れた教材や使いやすいパワーポイントでの教材の紹介や講習をお願いしたいです。
- ・ 丁寧に教えて頂き、分かりやすかった。教材をたくさん紹介して頂き参考になった。2学期にすぐ使える教材を作ることができて良かった。全体を通して、遠くからの参加でしたが参加して良かったです。また、機会があれば是非参加したいです。
- ・ 基本的なこと、事例を見せてもらって大変参考になりました。自分でいろいろ試せていい経験になりました。全体を通して、いろんな例が見られて参考になりました。
- ・ 知らなかった事を知れて良かった。特にパワーポイント。パワーポイントの具体例での操作の説明が速すぎて分かりにくかった。初めてのパワーポイントで教材を作れて良かった。
- ・ Mischief やきつずタブなど知らなかった情報を教えて頂けて勉強になりました。教材をたくさんの先生方と共に作る時間は本当に楽しかったです。ありがとうございました。全体を通して、具体的に使っている教材をもっとたくさん見せて頂けると嬉しいです。
- ・ マイクロソフトの方から最新の活用方法を聞いて良かったです。実際、現場の先生が作られたスケジュール等、子どもへの愛があふれていて良かったです。CD-ROM まで頂けて今までの教育委員会の研修で一番良かったです。いろいろな先生方のアイデアが勉強になりました。
- ・ 基本操作は分かったのですが、応用も教えてほしかった。たくさんのデータを頂けて良かったです。教えてくれる人を増やして欲しい。マネして又頑張りたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 研修で話は聞いた事があるけど…読んだ事はあるけど…という機能を自分で実際に活用できた事が良かったです。忘れてしまいそうなので、どんどん教材を作って慣れていければと思います。自分の課題として予め作りたいテーマをしっかり構成して（から講座に参加すれば）おけば良かったです。
- ・ Moose、Mischief は初めて知ったのですごく授業に使いそうな気がした。是非、試してみたいなあとと思った。いろんな教材を見れて良かった。いろんなアイデアがあっっておもしろかった。
- ・ 今まで何度も作った事はありましたが、今日また新たに知り得る機会となりました。作り出す楽しい時間が全然足りなかったので、また、家に帰って作ってみようと思います。最後の発表がすごく緊張しました。Microsoft の普段知らないような便利なツールやサイトを教えて頂けて嬉しかったです。早速ダウンロードしようと思います。すごく良かったので、又職場でも広めたいと思います。
- ・ パワーポイントは、ほんの少し開けてみたことがあるくらいだったので、今日はスピードが速くて戸惑う事もありました。でも教材として色々活用できる事が分かり勉強になりました。これから活用していきたいと思います。基本的なパワーポイントの入門講座をもう一度やって頂きたいな—と希望します。

講座 O

「ムービーメーカーを使った簡単動画と写真の編集」

教材製作講座

講師 梅田 知恵 先生

1. 良かったこと・感想

- ・ 動画や写真を編集して作品作りが出来るようになって良かったです・インターネットで画像を取り込んで編集が出来て良かったです。他の皆さんの素敵な作品が見れて良かったです。この講座に参加できて良かったです。自分でもこれから作れそうです！！
- ・ 楽しく研修できて良かったです。ありがとうございました。
- ・ 教材への活用の仕方などバージョンアップして教えて頂きたいです。
- ・ 大変分かりやすかったです。人数が少なくして私は集中して出来ました。スタッフの方も全体に目が届いて良かったのではないのでしょうか。作品作りを「実際にする事で操作等がより分かりました。ありがとうございました。
- ・ 質問したいときに先生が複数いてくださって助かりました。実践時間をたくさん作って頂き自分で作ってみる事で充実感が得られました。少人数で最後の発表では、わきあいあいと楽しめたのが良かったです。
- ・ 自由に作品を作れ、時間もたっぷりあって楽しかったです。Windows7のムービーメーカーの使い方の研修があればと思います。色々な方の作品が見れて参考になりました。
- ・ やり方が分かって良かったです。今後も使っていきたいです。
- ・ 全く触ったことのないムービーメーカーで、すごく楽しく作品作りができました。良い機会でした。みなさん、個性的な作品で見ていると飽きませんでした。
- ・ 自分でいろいろできるので最初から最後まで楽しく参加できました。ありがとうございました！！
- ・ 楽しく取り組み、授業にも役立てられそうです。見本がおもしろくて参考になりました。みなさんの作品が見れたのも良かったです。メディアをもっと持ってきておけば良かったです…。ゆったりと参加できて焦らず出来たのが良かったです。ありがとうございました。
- ・ 思ったより簡単に手軽に作れることを知り、勉強になりました。時間がたっぷりあったので、自分であれこれしながら何とかそれなりのものができました。



第 38 回 大阪ムーブメント教育 研究会のご案内

大阪ムーブメント教育研究会（ JAMET 大阪支部 ）
代 表 金 川 朋 子

ムーブメント教育は、1977 年に小林芳文博士（和光大学教授）によって、初めてわが国に紹介されました。『人間尊重』の教育を基本理念として、子どもの自主性・自発性を重視し、究極的には子どもの『健康と幸福感の達成』をめざしています。この素晴らしいムーブメント教育について、ともに勉強し、日々の教育実践に反映させ、楽しいムーブメント教育を広げていきたいと考え、2005 年 10 月から大阪でも研究会をスタートし、6 年が経過しました。6 年間の成果を「多くの仲間と共有できています。

今回は、JAMET 会長である小林芳文先生を大阪にお招きして、直接ご指導いただける貴重な研究会となります。なお当日は、子ども教室も公開し、実際にいきいきと楽しんで取り組む子どもの様子を見ていただきたいと思います。

ムーブメント教育に興味をもたれている方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひ参加してください。また、まだムーブメント教育を知らない方々も仲間でおられたらぜひお誘いください。

☆ 日 時 :平成23年 12 月 24 日(土) 13:30 ~ 16:30

☆ 会 場 :大阪教育大学 附属特別支援学校
(大阪市営地下鉄谷町線 喜連瓜破駅下車 徒歩 5 分)

☆ 参加費 :2,000 円 (当日 徴収いたします)

☆ 内 容 : 保育・教育・家庭でのムーブメント教育の実践について

☆ 申し込み先及び方法

:JAMET 大阪支部 FAX 072-367-0713

:E-MAIL kogorou123@nifty.com

:下記の申込書にご記入の上FAX、もしくはメールでお申し込みください。



《第 27 回 研究会の様子》

☆大阪ムーブメント教育研究会ホームページ <http://homepage2.nifty.com/osaka-movement/>

☆ その他 ・動きやすい服装でご参加ください。

・問い合わせ等 JAMET 大阪支部 高井照隆 090-9995-5223

☆ ムーブメント教育 研究会 (12 月 24 日) 参加申し込み

ご氏名(ふりがな)	所 属 名	連 絡 先
		TEL・FAX
		E-MAIL

* 複数枚必要な場合は、おそれいりますが、コピーをしてお申し込みください。

平成23年10月1日

関係機関長 様

大阪特別支援教育推進連盟
理事長 南 良知

大阪特別支援教育推進連盟
平成23年度実践記録論文の募集案内

日頃は、大阪の特別支援教育の推進・充実に何かとお力添えをいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、本年も標記のとおり障害児（者）の福祉・教育に携わる方々の実践記録論文を下記の要領で募集いたします。

つきましては、関係者へのご周知、ご奨励をよろしくお願い申し上げます。

記

平成23年度実践記録論文募集要領

- 1 内 容 福祉施設・学校等で障害児（者）と共に歩んでいる方々の日ごろの実践のまとめ
- 2 方 法 A4版で本文を5000字程度（ワープロ可）写真、グラフ、図等の挿入も可
具体的な実践論文の書き方については、別記を参照してください
審査の都合上、6部コピーして送付してください
- 3 締 切 平成24年1月13日（金）
- 4 送り先 大阪特別支援教育推進連盟事務局
〒535-0022 大阪市旭区新森6-8-21
大阪市立光陽特別支援学校内 TEL 06-6953-4022
- 5 表 彰 優秀作品には、賞状及び記念品を贈呈します。
- 6 表彰式 平成24年2月24日（金） 15時 ～16時30分
たかつガーデン（大阪府教育会館）
大阪市天王寺区東高津町7-11 TEL 06-6768-3911

実践論文の書き方（例） —— 実践論文の構成と記載概要 ——

- A4版で本文を5000字程度（ワープロ可）
- 写真、グラフ、図等の挿入も可
- 表紙に、題目（テーマ）、所属、氏名（グループ名）を記載

<実践論文の題目（テーマ）>

- ・ 論文の内容が推測できるキーワードも含め、題目を40文字程度で標記する。

<要約>

- ・ 論文の概要が分かるよう500文字程度に簡潔にまとめる。

<目次>

- ・ 大項目、小項目を記し、ページを記す。

<序論>

- ・ この論文を書くに至った経緯、この内容を取り上げるに至った背景・理由を記す。
- ・ 取り上げた対象の実態、取り上げた児童・生徒（障害者）の実態、及び児童・生徒（障害者）を取り巻く状況を記す。

<実践＝取り組み>

- ・ 具体的な実践記録を、大項目、小項目を付して分かりやすく記す。

<結果と考察>

- ・ 実践を通して明らかになったこと、課題、今後どのような点に活かせるか、など実践全般を通しての総括的なまとめを記す。